

○玉成保姆養成所生徒募集

東京府社會事業協會の音樂遊戲講習會
事業協會

來る四月新學期入學希望の方は入學願書に履歷書

及醫師の身體検査表相添へ東京市麴町區上二番町三

十六、ソファヤ、アラベラ、アルウキン宛御送附の

こと。

尙詳細は電話(九段、一八二)又は直接御問合せを

乞ふ。規則書御入用の方には御送附申すべし。

東京市麴町區土手三番町十六。玉成保姆養成所。

東京府社會事業協會の第一部保育分科會は去る大正十一年十月二十八日より毎週木、土の二回毎回二時間迄總計八回神田區三崎町東京三崎會館に於て音樂講習會を開催せり講師は東京府女子師範學校教諭大和田愛羅氏にして府内各保育所保姆其他職員四十名乃至三十名毎回出席せり右音樂講習終りて引續き十一月二十五日、十二月二日、七日の三回遊戲講習會をも開き講師は麴町小學校長土川五郎氏、出席者前者と同じく皆熱心講習を受け裨益尠からざりしと。

雪のない晴れやかなお正月を都で迎へた直さんは汽關車四つ附けてもまだ雪の中に立往生するような汽車に乗て北陸のお國へ歸て行きました。止むを得ぬ用事もないのに、急用でもないのに。往復に半分もとられてしまふ、たつた七日のお休みをじつとしてゐられないで、二年逢はない父母の戀ひしさに堪へかれてでもありません。

「故郷をなつかしめる人は幸だ、歸り得る故郷のある人は羨しい」と或人が云ひました。ほんとうに都會人には歸りたくても故郷がありません。毎日眺めた山の雲、朝晩きいた涙の音、お國なつかしの思ひを知らせません。

激しい戦鬪の世へ送り出されて行く誰れも誰れもが、せめて「幼き日」の朝夕を、「幼き日の親しき群」を故郷の思ひで一人一人の胸に持ちたいと思ひます。

「幼き日」への光を明るくも暗くもする鍵。それは一生の中の瞬間にすぎなくとも、私達の手へ渡されます。